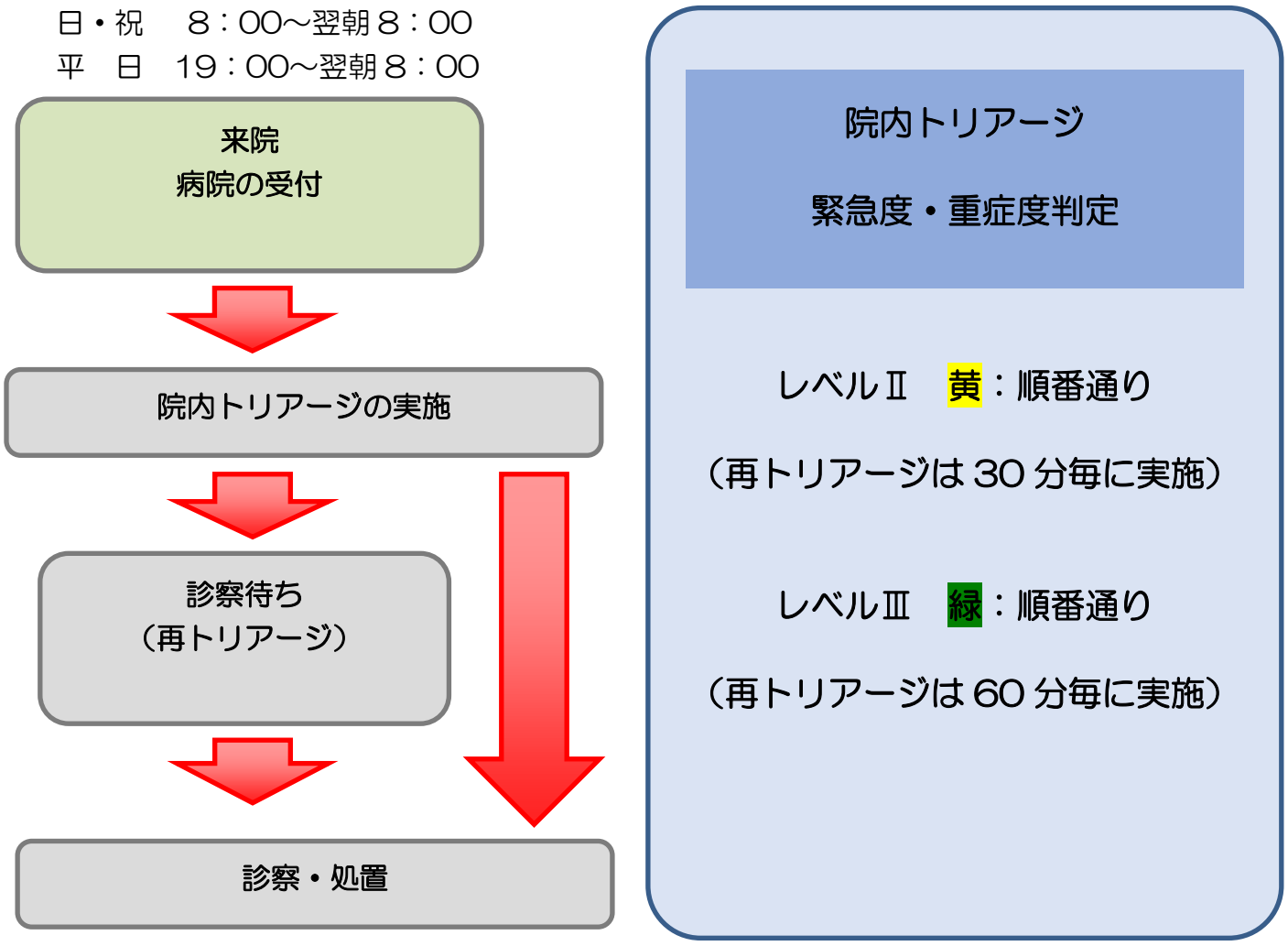
# 院内トリアージの実施について

当院では、緊急度・重症度の高い患者さんを優先し医療が提供できるよう院内トリアージ（優先順位の決定）を実施しています。

## 院内トリアージとは

診察室受付にて問診をとり、状態を確認・観察し、緊急度・重症度の高い患者様から優先して診察を行います。緊急度・重症度の高い患者様を優先して診察する為、受付の順番通りの診察ではなくなる場合があります。

（対象時間）
土曜日　12：00～翌朝８：00
日・祝　 ８：00～翌朝８：00
平　日　19：00～翌朝８：00




来院時よりも具合が悪くなってきた方、待ち時間が長くなっている方は、声をかけて下さい。院内トリアージへのご理解とご協力をお願い致します。

医療法人徳洲会　吹田徳洲会病院　病院長

# 院内トリアージ実施基準

2018 年 4 月 1 日策定
2020 年 4 月 1 日改訂
2021 年 4 月 1 日改訂

## 1、目的

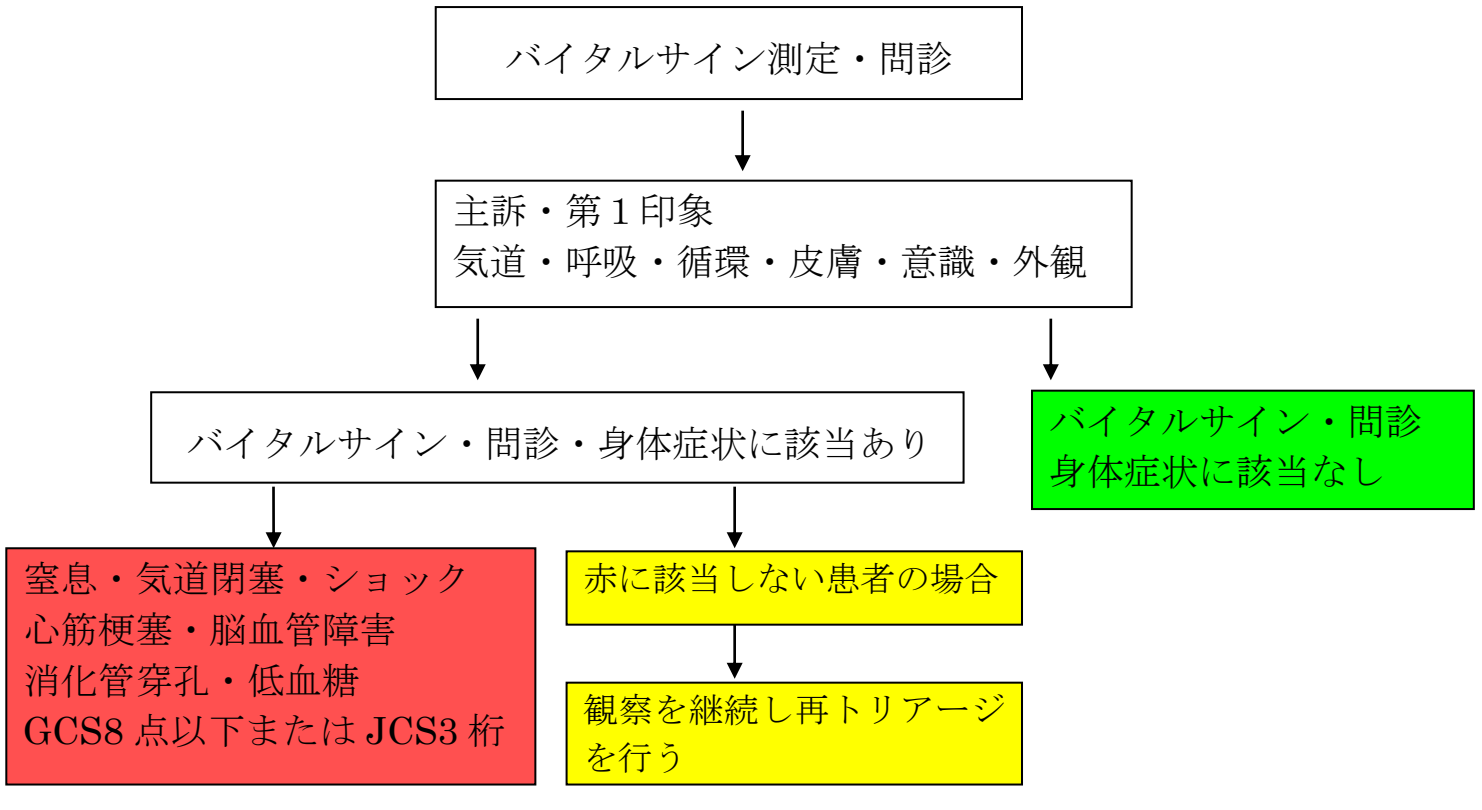
来院された患者の重症度、緊急度を判断し、優先順位を付けて、生命の危険な状態にある患者を早期に見つけだすことを目的とし、来院後速やかなトリアージを目標開始時間とし、再評価時間は状態により下記の基準で行う。

## 2、判断基準

トリアージによって、次の 3 段階に判断する。

赤：直ちに医師へ報告、診察、初療室へ入室し、治療処置を開始する。
黄：待合室にて待機可能か否かを医師に報告、相談し決定する。
　待機決定後、診察が始まるまで観察を継続し、待ち時間が長い場合は 30 分後に再トリアージを行う。
緑：待合室にて待機可能。待ち時間が長い場合は 60 分後に再トリアージする。
　身体的苦痛が強い場合：必要に応じて観察ベッドで待機してもらう。

## 3、院内トリアージの流れ

1）バイタルサイン測定
2）問診
3）主訴の確認と第 1 印象
　気道・呼吸：呼吸が楽に出来ていない
　循環・皮膚：顔色、冷汗、冷感、チアノーゼ等はないか
　意識・外観：表情、意思疎通が可能か、歩けるか、立っていられるか
4）フィジカルアセスメント
5）トリアージレベルの判断

## 4、院内トリアージ手順